

(本件に関する照会先)

日本銀行徳島事務所 088-622-3126

2020年4月16日

日本銀行高松支店

徳島事務所

徳島県金融経済概況

1. 概況

- 徳島県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、このところ弱めの動きとなっている。

すなわち、設備投資、公共投資は増加している。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、一部で弱めの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。こうした中、企業の生産動向は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、一部で弱めの動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得も基調的には緩やかに持ち直している。この間、企業の業況感は、悪化している。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、増加している。

3月短観における設備投資（全産業）をみると、2019年度は、前年を上回る見込みとなっている。2020年度は、現時点では、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、一部で弱めの動きとなっている。

大型小売店の売上は、一部で弱めの動きとなっている。

乗用車販売は、弱い動きとなっている。

家電販売は、足もと弱めの動きがみられている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、増加している。

- 企業の生産動向は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、一部で弱めの動きとなっている。

化学、金属製品は、振れの大きい展開となっている。電気機械、食料品は、横ばい圏内の動きとなっている。はん用・生産用機械は、弱めの動きが広がりつつある。パルプ・紙・紙加工品、輸送機械は、減少している。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まった状態が続いており、雇用者所得も基調的には緩やかに持ち直している。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%台半ばとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（2月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。

貸出約定平均金利は、前月比低下した（県内国内銀行ベース、2月末1.241%〈前月末1.248%〉）。

- 預金（2月）は、前月に比べ前年比プラス幅が幾分縮小した。
- 倒産（3月）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。信用保証協会の代位弁済は、低水準となっている。

以 上